

## 東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)	家庭総合(2)				
対象年次	期別	必要面接時数	レポート数		
原則2年次	通年	4	4		
科目の概要	「家庭総合」の学習内容のうち、「食生活をつくる・衣生活をつくる・消費行動を考える・経済的に自立する」の範囲を学ぶ。				
科目の目標	衣食に関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を自ら解決し、家庭生活を充実、向上させる力を身につける。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	実習①(ポケットティッシュケース)	・定規を使って、布に5本の線を引く。 ・布の上下に引いた線を折って、波縫いで留める。	1		前期
	実習②(ポケットティッシュケース)	・布の端に刺繍をする。 ・2枚の布を波縫いで縫い合わせる。	2		
	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる①	・気候風土や宗教による食生活の違いを学び、健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。		1	
	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる②	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につけ、食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。		2	
	実習③(ポケットティッシュケース)	・布を線で谷折りして端を仮止めし、もう1枚の布と合わせて波縫いする。 ・バイアステープで布の端を覆う。	3		後期
	実習④(ポケットティッシュケース)	・バイアステープを縫う続きを行う。 ・ボタンとスナップを縫い付ける。	4		
	第2編 生活をつくる 第2章 衣生活をつくる	・時代の流れに応じて、歴史や風土に適した衣服などの学習を通して、衣服とは何かを理解する。 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、自分の衣生活と繋げる。		3	
	第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える	・消費行動とは何かについて知り、適切な選択をするためにどうすればよいか考える。 ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの大切さについて学ぶ。		4	
	第3編 消費者として自立する 第2章 経済的に自立する	・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解し、生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について学ぶ。			
評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。                      レポート:30% スクーリング:40% 試験:30%                      レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。                      スクーリング:年間計画に従い、実技を実施する。進捗状況によって評価が変動ある。                      試験:追試験は行わないものとする。</p>				
単位の修得	<p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。                      ②スクーリング:年間4時間出席すること。                      ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p>				
使用教科書等	「新家庭総合パートナーシップでつくる未来」 実教出版				
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。				